

令和元年度 郡山第五中学校学校評価保護者アンケート集計結果について

別紙の通り全体として概ね高い評価をいただいておりますが、今後の学校経営に生かしていきたい点について抽出いたしました。

(1) 自学について

	数値	対応
自学 83.6 %	自学④ お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いていますか。 (74.1%) H29年度 72.0% H30年度 70.8% R01年度 74.1%	○ この家庭学習に関する項目につきましては、ここ数年において本校の課題となっておりますが、今年度も数値の上では大きな改善がみられませんでした。 ○ 予習⇒授業⇒復習の学習のサイクルは生徒の確かな学力を育む基本となります。 ○ 次年度はさらに、学校全体で生徒の実態を踏まえ、家庭と連携を図りながら『学力向上』に力を入れて参ります。 ○ 家庭学習は「自己マネジメント力」が必要であり、学校の取組と心の支え・環境づくり・習慣づくりを連動させていくことが大切です。一昨年配付された「ふくしまの家庭学習スタンダード」に示された内容をベースに学校の取組を工夫してまいります。

(2) 共生について

	数値	対応
共生 86.4 %	共生⑥ 五中生は、スマートフォンやインターネットなど、マナーを守り、トラブルなく使用している。 (76.9%)	○ 教科指導や学活をはじめ、学校生活の中で折に触れてSNSをめぐる情報モラルとその危険性について啓発してまいりました。 実際のところ、どの生徒もマナーの大切さについては理解はしているものの、少しでも使い方を誤ることによって「非行事故等に巻き込まれる危険性」や「いじめや人間関係のトラブルに発展する危険性」につながるという危機意識はそれほど高まっていません。 今後も、生徒指導だよりや定期調査に加え、いつでもどの学級でも起こりうるものという認識を生徒と共に高めていきます。 ○ 生徒一人一人が“いじめは絶対に許されない”という気持ちを育むよう、称賛の場を意図的に設け、支え励まし高め合う風土をさらに醸成します。 ○ 学級や生徒会活動、そして部活動等を通して豊かな心を育んで参ります。

(3) 自立について

自立 91.3 %	○ 自立に関しては高い評価をいただいております。基本的な生活習慣が身につけているため、欠席が少ないという本校の良さを継承しながら、次年度もさらにキャリア教育に努めてまいります。
---------------------	--

(4) 学校運営について

学校運営 89.1 %	○ 今年度も生徒の活躍を、学校だより、生徒指導だより、学年だより、学級たより、ホームページ等を通して積極的な発信をして参りました。これからも学校の取組の発信に努めてまいります。 ○ 次年度も、さらに学校と家庭、そして地域の連携が図れるように一層努力してまいります。また、保護者と担任の意見交換に努めております。今後も双方向の情報交換を通し、生徒を支援してまいります。
-----------------------	---